

## — はじめに —

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和 57 年 3 月に市が作成した「10 万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けた行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成 19 年 4 月 1 日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和 60 年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、その生き生きと活動する姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスの気持ちを引き起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。創設から今回の第 38 回までに、80 団体と 2 個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成 3 年度からふるさと創生の 1 億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、助成をしています。令和 3 年度までに 635 の団体・個人の活動を支援してきました。

また、令和 4 年度からは飯田駅前の新施設「丘の上結いスクエア」内にムトス推進委員会事務局が移り、市民活動の推進に更に力を入れています。

また、令和 4 年度には、新しい助成部門「ムトス飯田チャレンジ事業」を設け、気軽に市民活動が始められるよう、短時間で助成決定できる制度としました。現在、14 団体へ支援を行っています。（令和 5 年度 2 月現在）

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO、一般社団法人、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。リニア新時代へ向けて市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体を中心にまとめた『活動報告集』を毎年発行しています。新たな繋がり構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会、及びNPO法人等の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

令和 5 年 2 月  
ムトス飯田推進委員会